

札幌市立山鼻中学校の取組

1. 研究のねらい

本校は、「札幌市中央図書館」に隣接しており、生徒たちは、日常的に本を借りることはもちろん、図書館を待ち合わせの場所に使用したり、自習室を利用したり、図書館の前に広がる公園で遊んだりして、日頃から慣れ親しんでいる。

また、本校では、読書活動として「朝読書」の取組を行っており、図書館で借りた本を読んでいる生徒も多くいる。

今回の授業では、次の 2 点をねらいとした。

- ・「日本十進分類法」を学び、自分が設定した課題を調べるときなどに、適切な本を見つけ、調べる力を身に付ける。
- ・図書館についての理解を深め、より便利に積極的に活用できるようになる。

2. 取組内容

(1) 対象学年

中学 1 年・3 クラス・国語の授業の一環としての活動・班活動 4 人編成

(2) 教材

『言葉に出会うために 本と出会う「図書館・読書」』（光村図書 中 1 教科書）

(3) 全体の流れ

- 1 時間目 【授業の説明】（授業の流れ・具体的な活動内容・図書館のマナーなど）
- 2 時間目（本時） 【実際に図書館に行きましょう。】実施日 2014 年 7 月 17 日（木）
- 3 時間目 【どんな本があったのかを発表・交流】

(4) 本時の流れ（図書館での活動）

① 「日本十進分類表（NDC）」を知ろう（…図書館の方からの説明・15分程度）

事前に図書館からいただいたプリントを見ながら、中央図書館の方の説明を聞く。「日本十進分類法」の一覧表と実際の本のラベルを提示しながら、具体的な説明をしていただいた。その他、「図書館でできること」「中央図書館について」などの説明もあり、新しく知ることが多く、生徒たちは大変興味深く聞いていた。



②実際に「ラベル（請求記号）」を頼りに、本を探してみよう。…班ごとの活動

- 1, 班ごとに、くじでカードをひく。（3冊分の「分類番号」「図書記号」）
- 2, 1階のJ（子供向けの棚）から、カードに書いてある「分類番号」と「図書記号（カタカナ）」の本を3冊、実際に探す。（班行動）

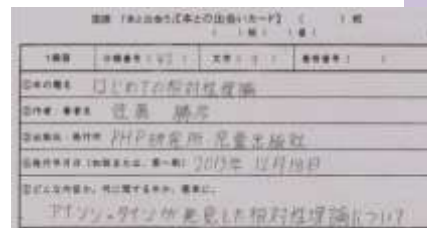
- ※1 同じ「図書記号（カタカナ）」の本が何冊もある場合は、その本の中から好きな本を選ぶこと。
- ※2 もし本が貸し出し中で無かった場合は、その前後の本を選ぶこと。

- 3, 3冊探したら、「カウンター」へ行って、貸し出してもらう。
- 4, 3階の講堂に3冊の本を持って戻ってくる。
- 5, 見つけた本の「奥付」を「本との出会いカード」に各自、3冊分メモをする。
- 6, 全員終了したら、3階の講堂に用意してあるカートに本を返却する。
- 7, 席に戻り、感想を記入する。



(5) 事後のまとめ（次の時間）

「本との出会いカード」（奥付をメモしたもの）を十進分類表に貼っていき、一覧表にまとめ、班ごとに「どんな本だったか」「感想」を発表、交流した。



3. 成果と課題

(1) 成果

事後のアンケートで、ほとんどの生徒が「またやって欲しい」「大変良かった」と書いていた。良かった点として、「図書館がより身近になり、もっと利用したくなった。」「知らなかった図書館の工夫がわかった。」「十進分類法を知り、本を探すときに早く探せるようになった。」「自分の知らない本と出会えた。」「学校外での活動だったので、楽しかった。」「班で協力して探せたので、楽しかった。」などが多かった。実際に他教科のレポート作成などで、調べものを探すときに分類法を利用して便利だったという生徒も多かった。図書館の利用の頻度が多くなった生徒もいるようである。

(2) 課題

図書館での活動を1時間扱いで行ったが、奥付をメモする時間がかかり、探した本をゆっくり閲覧、交流する時間が取れなかった。2時間扱いの方がよいと思う。お忙しい図書館の方々の多大なご協力で実施できた授業である。他機関との連携、調整の時間の確保も課題である。さらに授業などでこの活動を生かしていく工夫を加えていくことが、必要である。